

・浜岡中学校の改築・移転について ・市道6124号線災害復旧について



杉浦 謙二

問 浜岡中学校は昭和33年に建築され、築48年が経過しています。昭和63年に地震対策大規模改修が行われていますが、校舎の老朽化と共に設置されている環境を考えますと、今後浜岡中学校の改築・移転をどの様に考えるか

答 浜岡中学校の教室棟は昭和33年に建築され、その後昭和63年に耐震補強・大規模改造工事が実施され現在に至っております。浜岡中学校は小笠地区の中学14校の中で最も古い校舎でありますし、各種のイベントの実施にあたり駐車場が足りないなど、手狭でありますので、移転も視野に入れながら、今後の教育行政のあり方を確実に見据え、人口・学生・財政等の状況を踏まえまして慎重に検討してまいります。

問 基金の創設についてこれからの学校施設においては、耐震に百年建築を目指すと共に、多目的スペースや新世代型学習空間を設けるなど質に配慮した施設でなければなりません。そして学校施設における安全管理対策、バリアフリー化、エコスクール化などの整備も必要であります。総じて、中学校の改築・移転には相当大きな予算が必要になるわけで、しっかりとした計画が必要で

す。市の財政も年々厳しくなっていく状況の中、学校施設改築基金の創設が必要であると考えますが市内の幼・小・中学校等の教育施設の整備に係る基金の創設は必要なことと考えております。条例化の方向を検討してまいります。

問 市道6124号線は一昨年の台風22・23号によりまして、法面崩落があり2カ所が片側通行となっております。原地域の人は大変不便をきたしており、交通事故の危険性もあります。今後の対策、改修はどの様になるのか

答 地元の方々をはじめとして大変ご不便をおかけしております。新野側崩落箇所につきましては、本年度一杯に、市単独事業の修復を考慮しております。下朝比奈側崩落箇所につきましては、大きな工事費が予想され、かなり難しい状況下にあります。県に対して交付金事業として要請をしているところであります。今後も継続的に働き掛けてまいります。

委員会報告

審議された質疑をピックアップ

総務経済 委員会

御前崎市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について

答 旅費等若干の補助は行っている。現地の設営に関しては、電源地域振興センターからの補助がある。

原案のとおり可決されました。

問 来年度以降、この事業は取りやめになるのか

平成18年度御前崎市一般会計歳入歳出予算の補正(第2号)の内、総務部、事業部の所管に属する事項について

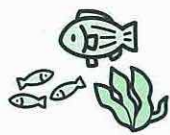
答 財源である資源エネルギー庁からの補助金が18年度は計上されなかったことにより、今年度は行わないこととなった。19年度以降については、規模を縮小して補助金も減額した中で実施されることである。

問 電源立地対策費中、広報安全事業として283万円減額されているが、電気のあるさとじまん市への出店数は、毎年どれくらいか

問 交通安全対策事業として、公用車へ青色回転灯を設置することであるが、どのような活動を行うのか

答 年によって異なるが、お茶・水産物・はちみつ・メロン等で6店ほどである。

答 19年1月から公用車10台に青色回転灯を設置したいと考えている。市内の犯罪防止のため菊川警察署からも防犯活動を実施して欲しい旨の要請を



問 出店者に対し、市から補助はあるのか

いただいている。